

9・10月は、運動会の練習を精一杯頑張ったぞうぐみさん。
2か月ぶりのお茶のおけいこは、これまでに習ったことの復習でしたが、お道具の名前もしっかり覚えていましたよ！

「お運びさん」と「お客さん」に分かれての練習、戸惑うことなくできましたか？
次回はいよいよ“お茶を点てる”経験をさせてもらえるそうです。楽しみですね！

*** 10 月のお菓子 ***



- ・ハロウィン
- ・ススキ

*** 10 月のお花 ***



- ・タマスダレ
- ・ホトトギス



全員の礼から、おけいこが始まります

お運びさん



菓子器は両端を
しっかり持ちます



お菓子どうぞ



古帛紗にお茶碗をのせて
運びます



お茶どうぞ

お客さん



菓子器に左手をそえて
お菓子は遠い所から取ります



お茶ちょうだいします



お茶をいただく前に感謝
しましょう



飲んだあとは、
指でつまんで清めます

*** 豆知識—お茶の歴史 (1)「お茶のものは中国」**

お茶を飲む風習がはじめて伝えられたのは、奈良時代といわれています。
そのころは団茶というお茶の葉をつき固めた“だんご”のようなものでした。

平安時代の終わりごろ中国の宋に渡った栄西という僧侶がお茶の実を持ち帰り、日本に広まっていったそうです。

栄西は、お茶を飲んで楽しむだけでなく、病気に効く薬だと時の將軍源^{みなもとの}実朝^{さねとも}に献上し、
武家の間に広まり始めました。又、商人の間にも広まっていったようですが、当時ではぜいたくな遊びと考えられ、お茶の産地や茶名を当てたりして楽しまれていたようです。

次回は、茶道の始まりへと続きます。